



	7月 7日 北千束中自治会（大田区） 越尾敏幸氏 アンケート活用（防犯・防災等の活動） 7月13日 高島平七丁目町会（板橋区） 中妻穰太氏 アンケート活用（住民ニーズ等の見える化）
20分	質疑応答
10分	休憩
80分	課題整理ワークショップ ワーク① ありたい町会の姿と、それに向けた課題の棚卸 ワーク② 最も重要度・緊急度が高い課題の選定、 その課題解決に向けた解決策の検討 ワークショップまとめ
10分	平成30年度の支援プログラムについて まとめ

○事前の告知方法

- ・ 区市町村宛にプロジェクト説明会を実施し(5月30日)、区市町村担当者から町会・自治会に告知
- ・ 東京都を通じたプレスリリース

○応募の受付方法

- ・ 東京都生活文化局宛に所定の申込用紙をメールまたは FAX にて申し込み

3. 参加人数（申込人数）

開催日	町会・自治会数		参加者数		ファシリテーター数**
4日（水）午後	12	(15)	16	(20)	4
4日（水）夜	3	(5)	4	(8)	1
7日（土）	5*	(6)	7*	(9)	2
13日（金）	10	(14)	14	(19)	3
計	30	(40)	41	(56)	10

\*事例紹介まで参加の 1 町会（1 名）含む

\*\*ファシリテーターはプロボノワーカーとサービスグラントスタッフが  
行った

#### 4. 当日の流れ

##### ○地域の課題解決プロボノプロジェクト説明

プロボノの語源から本プロジェクトの概要、支援内容、支援申し込みの流れまでを参加町会の皆様に説明しました。

【写真】地域の課題解決プロボノプロジェクトについての説明の様子(7月7日)



##### ○プロボノ活用事例紹介

昨年度の「地域の課題解決プロボノプロジェクト」においてプロボノによる支援を活用した経験のある団体の代表者をゲストにお呼びして、プロジェクトの様子やそこから得たもの、現在の活動に与えた変化などを伺いました。

【写真・図版】ゲストおよび資料(抜粋)

7月4日ゲスト：井の頭一丁目町会(三鷹市) 竹上恭子氏

テーマ：マーケティング基礎調査(広報のあり方) 右は竹上氏ご準備の資料



7月4日ゲスト：北新宿二丁目町会（新宿区） 山田和男氏  
 テーマ：SNS活用（Facebook 立上げ） 右は山田氏ご準備の資料



7月7日ゲスト：北千束中自治会（大田区） 越尾敏幸氏  
 テーマ：アンケート活用（防犯・防災等の活動） 右は越尾氏ご準備の資料



7月13日ゲスト：高島平七丁目町会（板橋区） 中妻穰太氏  
 テーマ：アンケート活用（住民ニーズ等の見える化） 右は中妻氏ご準備の資料



## ○事例紹介にて挙げた質問事項（抜粋）

Q：現在の事業の継続性について考えを教えてください。

A：町会の運営委員は15名います。男性が8名、女性が7名で任期は2年、ほぼ継続して続けていますが、新しい方を増やすことも考えています。防災は「防災を考える会」を立ち上げて毎月定例会をやっています。この間40回を迎えました。みんなで防災を考えようと、町会の中での最重要課題として考えています。継続性は今のところは問題ないと考えていますが、若い方にバトンタッチできるようにしていきたい。そのためにもイベントの中で若い方の活躍の場を作って、その方たちが町をよくしたいという思いになると防災にも力を貸してもらえるのではないかと考えています。（井の頭一丁目町会 竹上恭子氏）

Q：この企画によって町会の役員の意識は変わりましたか？

A：非常に変わりました。SNSは一人ではできないので若い方にお手伝いをお願いする。そうすると、30～40代の方が何人か手伝ってくれました。行事にもどんどん出てきて意見を言ってくれるようになりました。町会の先輩の役員の中には、今回を機会にスマートフォンに取り組んでメールに挑戦している人もいます。若い方がどんどん参加し、先輩方が理解する中で、だいぶ距離が以前より近くなったことを実感しています。この企画を始めたことでいろいろなことが変わってきました。（北新宿二丁目町会 山田和男氏）

Q：アンケートは自治会員だけに配ったのですが、それとも全世帯が対象ですか？

A：自治会費を払っている世帯を対象にしました。用意した部数は1300です。4ページありましたので、できるだけ安く印刷するために、近所の文化センターの印刷機を借りて1枚2円くらいで印刷しました。普段、回覧を回している世帯は原則会員なのでそこだけを対象にしました。（北千束中自治会 越尾敏幸氏）

Q：班長や組長という制度はありますか？

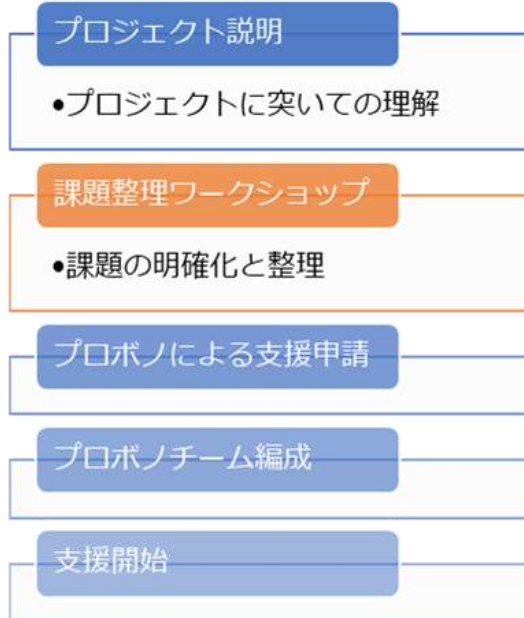
A：以前はブロックごとに班長さんがいましたが、新しい住居が増えてきて班長のような方がいなくなってきました。高齢の方がいないと成り立たないということが難しいところです。（高島平七丁目町会 中妻穰太氏）



## ○課題整理ワークショップ

ワークショップの目的や進め方を説明したのち、ファシリテーターの案内のもと、町会・自治会の皆さまが運営に関する課題を挙げ整理しました。

### <課題整理ワークショップの目的>



団体が抱える課題の中にはプロボノによる支援が適切なものやそうでないものがあります。また、様々な課題を抱える中で課題解決の優先順位を団体がつけにくい場合があります。そのため、プロボノの支援を受ける前に、支援に関心のある団体を対象にワークショップを行いました。

プロボノによる支援が可能な自団体の課題は何か検討することで、プロボノによる支援を受ける準備を整えることが本ワークショップの目的です。

### <ワークショップの内容>

ワークショップの目的と基本的なルールを確認したのちに、次のようなワークを行いました。まずは団体の課題だと思われることを参加者全員がおもいつくままに書き出します。次に、団体の「こんな町会・自治会の姿がよいのではないか」という中長期的な目標と照らし合わせながら優先して解決すべき課題の抽出や、解決に向けた方策を検討しました。同じグループの他団体の参加者やファシリテーターと意見交換をしたり、他団体の取り組みについても情報交換を行いました。最後に、解決策の中で、プロボノによる支援が活用できそうなところはあるか、あるいは、自団体が次に取り組むべきアクションは何かを検討しました。

【写真】課題の書き出し[1-1]をする参加者とファシリテーター（プロボノワーカー）



【写真】 課題を重要度・緊急度に基づき分類



【写真】 課題に対する解決策を検討し、自分たちで解決できるもの、お金で解決できるもの、スキルで解決できるもの、それぞれ何かを分類



【写真】 抽出した課題を参加者同士で共有



## 5. 参加者アンケート

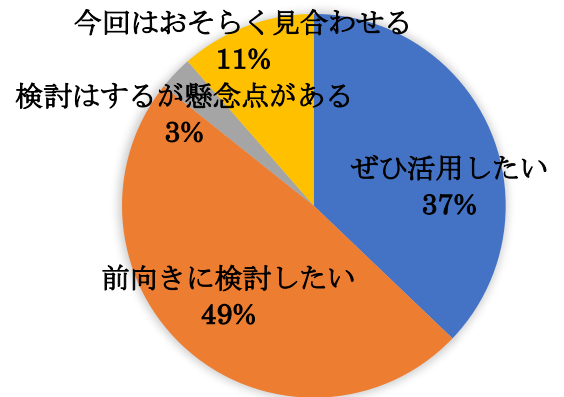
### ○件数

回答者数 35名（回収率85.4%）

### ○結果（アンケート集計結果より一部抜粋）

Q:説明をお聞きになり、プロボノ支援を活用したいと思いませんか？

内容	人数	割合	団体
ぜひ活用したい	13	37%	10
前向きに検討したい	17	49%	15
検討はするが懸念点がある	1	3%	1
今回はおそらく見合わせる	4	11%	4
計	35		



Q:「ぜひ活用したい」を選んだ方（13名、10団体）に伺いました。検討されているコースはどちらでしょうか？

内容	人数
伴走支援コース・情報発信系	6
伴走支援コース・ニーズ調査系	2
個別支援コース	3
決めていない	2
計	13

### ○参加者の回答（アンケートより一部抜粋）

- ・ 本日は誠にありがとうございました。だいぶ前向きになりました。
- ・ プロボノで実際に支援していただける方のクオリティーがどうなのかちょっと不安です。
- ・ 皆さんが同じような問題をかかえている事が良く分かりました。勉強になりました。ホームページも考えてみたい。
- ・ 当方受け入れ体制整っていません。

以上

ゲストトークの内容は、別添1～4：当日レポートをご参照ください。



認定 NPO 法人 サービスグラント

代表理事 嵯峨 生馬

事務局 小林 智穂子、北詰 佳子、清野 あずみ

**【連絡先】**

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷一丁目 2 番 10 号 中里ビル 4F

電話番号: 03-6419-4021

電子メール: [info@servicegrant.or.jp](mailto:info@servicegrant.or.jp)